

# 令和7年度 千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

<主催:関東運輸局千葉運輸支局>

- 日時: 令和7年11月28日(金)13:30~15:30
- 場所: 野田商工会館
- 議事(1)バリアフリーの取組(講演)
  - (2)国のバリアフリーへの取組(運輸局・整備局)
  - (3)意見交換

## 委 員

(敬称略)

- <座長> 藤井 敬宏(日本大学理工学部 非常勤講師)  
本宮 敏雄(千葉県身体障害者福祉協会 理事長)  
今野 正隆(千葉県視覚障害者福祉協会 会長)  
渡邊 義幸(千葉県聴覚障害者協会 相談支援室長)  
岩野 明子(千葉県手をつなぐ育成会 会長)  
中村 義光(千葉県精神障害者家族会連合会 理事)  
大野 祐子(千葉県自閉症協会 理事)  
須賀田 貞彦(千葉県老人クラブ連合会 理事長)

## 参画(委員以外)

- 【施設設置管理者等】北総鉄道(株)、流鉄(株)、阪東自動車(株)、京成バス(株)、(一社)千葉県タクシー協会 他
- 【関係行政機関】千葉県、松戸市、流山市、柏市
- 【その他】 関東地方整備局、関東運輸局

## バリアフリーの取組等

京成バス千葉ウエスト株式会社 企画部長 福本 健二 氏「バリアフリーの取組」

## 会議での発言 (委員より)

- ・ 障害者向け運賃補助により移動負担が軽減された一方、運行トラブル時の駅員対応には差があり、不安を感じる場面もあった。
- ・ 駅員の接客は概ね丁寧との評価があるが、人身事故など非常時対応は今後の検討課題である。
- ・ 駅改修によりICカード利用などバリアフリー対応が進んだ点は評価されており、トイレ整備も行政連携で一定の成果があった。
- ・ ホームドア整備は進展しているが、心のバリアフリーへの理解促進が引き続き求められる。
- ・ バスについてはノンステップ化が進んでいるが、路肩整備など道路インフラが伴わなければ十分に機能しない。
- ・ 注意喚起装置は音声だけでなく、聴覚障害者にも配慮した視覚情報の導入が望まれるが、技術・制度面で課題がある。
- ・ 自動運転バスは障害者の立場では不安もあり、当事者参加型の実証実験が重要である。
- ・ タクシーアプリは待ち時間や位置把握の点で利便性が高く、移動支援として有効である。
- ・ バリアフリー意識啓発は早期体験が重要。高齢化・孤立が進むなか障害者が集える場の創出も求められる。

# 令和7年度 栃木運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

<主催:関東運輸局栃木運輸支局>

- 日時:令和7年12月3日(水)13:30~15:30
- 場所:栃木県自動車整備振興会 教育会館 3階会議室
- 講演:宇都宮大学共同教育学部 教授 長谷川 万由美 氏  
「化学物質過敏症は障害か?」
- 報告:国のバリアフリーの取り組みについて  
(関東運輸局、関東地方整備局)
- 意見交換

## 委 員

(敬称略)

- <座長>大森 宣暁(宇都宮大学地域デザイン科学部 教授)  
長谷川 万由美(宇都宮大学共同教育学部 教授)  
前田 則隆(一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会 会長)  
兼目 ちえ子(一般社団法人 栃木県視覚障害者福祉協会 副会長)  
稲川 直樹(一般社団法人 栃木県聴覚障害者協会 青年部長)  
齋藤 賢治(一般財団法人 栃木県老人クラブ連合会 常務理事)  
池本 喜代正(一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会 理事)  
興野 憲史(栃木県精神保健福祉会 会長)  
平山 奈穂子(栃木県自閉症協会 理事)

## 参画(委員以外)

- 【施設設置管理者等】 東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、宇都宮ライトレール株式会社、関東自動車株式会社、ジェイアールバス関東株式会社、矢野自動車株式会社、一般社団法人栃木県バス協会、一般社団法人栃木県タクシー協会
- 【関係行政機関】 栃木県、栃木県警察本部、芳賀町、さくら市、那須町、塩谷町、足利市、佐野市、壬生町
- 【国土交通省】 関東地方整備局、宇都宮国道事務所、関東運輸局

## 講 演

【宇都宮大学共同教育学部 教授 長谷川 万由美 氏】<講演題目>「化学物質過敏症は障害か?」

## 会議での発言 (委員より)

- ・ 障害者割引制度は、1人で行動できる方の100km未満の短距離移動(病院・買い物・就業)で社会参加する際は交通費が全額負担になる。100km未満の移動にも割引制度を適用するなど制度を見直してほしい。
- ・ バスの車外放送による行き先案内が、安定的に実施されていない。音量が大きすぎる場合もあれば、小さすぎて聞こえない場合もある。後方乗車では運転手に直接確認しにくい。車外放送を徹底していただきたい。特に都市部では車外放送を徹底し、適切な音量で安定して流していただきたい。
- ・ キャリーバッグを持った利用者が座席を2席占領するケースがあり、後から乗車した障害者や高齢者が座れないことがある。荷物置き場の設置、配慮をしていただきたい。
- ・ 暑い日が多いため、バス停に屋根がある所が増えるとありがたい。
- ・ 駅などに並んでいるタクシーに乗車した際、視覚障害者はどのタクシー会社のタクシーに乗車したのか分からない。乗車時に「〇〇タクシーです。」と会社名を挨拶のように言っていただくと、忘れ物やトラブル時の問い合わせの際に非常に安心できる。
- ・ 栃木県は車文化が強く、知的障害者の外出は車利用が多い。公共交通機関が使いやすくなることで、外出の機会を増やし、人と接する機会も増える。今後とも公共交通機関の心のバリアフリー、ハード面でのバリアフリーを進めてほしい。
- ・ 駅構内で、緊急情報が音声のみで提供されている。聴覚障害者は聞こえないため、周りを見て判断している状況。駅員に確認することもできるが、緊急時はなかなか難しい。今後、デジタルサイネージなど視覚的にわかる情報提供をしてほしい。

# 令和7年度 移動等円滑化評価会議 埼玉支部会 概要

## 開催概要

<主催:関東運輸局埼玉運輸支局>

○日時:令和7年12月19日(金)14:00~16:00

○場所:レイボックホール6階 集会室1

○議事:・令和5年度移動等円滑化評価会議埼玉支部会における  
振り返り  
・国におけるバリアフリーの取組みについて  
・自治体におけるバリアフリーの取組みについて  
・意見交換

## 委員

(敬称略)

<座長>高橋 儀平 (東洋大学 名誉教授)

大井田 弘子(公益社団法人埼玉県視覚障害者福祉協会 副会長)

大内 伸一 (一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会 事務局長)

佐藤 美樹子(埼玉県精神障害者家族会連合会 会長)

野島 久美子(埼玉障害者市民ネットワーク 代表)

矢崎 弘美 (埼玉親の会『麦』会長)

酒井 依子 (埼玉県発達障害福祉協会 副会長)

## 参画(委員以外)

(順不同)

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、国際興業株式会社、朝日自動車株式会社、東武バスウエスト株式会社、西武バス株式会社、株式会社つばめタクシー、ダイヤモンド交通株式会社、一般社団法人埼玉県バス協会、一般社団法人埼玉県乗用自動車協会

【関係行政機関】埼玉県、埼玉県警察本部、さいたま市、戸田市、川口市、朝霞市、越谷市、上尾市、春日部市、新座市、白岡市、入間市、滑川町

【国土交通省】関東地方整備局、関東運輸局

## バリアフリーの取り組み等

【埼玉県】埼玉県における基本構想等に対する考え方

【川口市】川口市バリアフリー基本構想について

## 会議での発言 (委員より)

- ・ 駅の無人化が進んでいるが、駅員がいないと不便で困る。
- ・ 文字や文章を読むことが困難な方にとって明朝体のフォントは読みにくいので、丸ゴシック体のように刺激が少なく太さが均一で読みやすいフォントやUDフォントを使用してほしい。
- ・ 感覚過敏を持つ方は案内を聞き漏らしてしまったり、混雑している車両に乗車できないということがある。刺激の少ないグリーン車両に1日複数回乗車できるように、1日あたりの使用回数制限を緩和いただき、移動に困難がある方への合理的配慮を検討してほしい。
- ・ バリアフリー化が進み、エレベーターが設置されるなど、以前に比べると移動の不安や負担が減っている。
- ・ バスの車内で席を譲るよう車内アナウンスが流れたり、自主的に譲ってくれる方が増えたり、心のバリアフリーが進んでいると感じている。
- ・ トイレの表示を英語で表記していたり、赤と青以外の色を使用していると知的障害者にとっては非常に分かりにくい。
- ・ 障害者手帳を提示することに抵抗を持っている方もいるので、カード化の実現を希望している。
- ・ 駅の点字ブロックを多機能トイレやエスカレーターに誘導するように設置してほしい。
- ・ 大宮駅や新都心駅のようにエスカレーターの安全利用を促すアナウンスを導入してほしい。
- ・ 車内や窓口で聞こえない方も利用するということを紹介していただけると嬉しいです。
- ・ 各運輸会社には、新人研修の際に障害者団体から講師を招いて、合理的配慮の研修を取り入れてほしい。

# 令和7年度 茨城運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

<主催:関東運輸局茨城運輸支局>

○日時:令和8年1月29日(木)13:30 ~ 15:30

○場所:茨城県開発公社ビル 4階 大会議室

○議事:・国におけるバリアフリーの取り組み

(関東運輸局、関東地方整備局)

・水戸市におけるバリアフリーの取り組み(水戸市交通政策課)

・意見交換

## 委 員

(敬称略)

<座長>山田 稔(茨城大学 名誉教授)

小林 茂敏(社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会 理事)

今井 利幸(一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 福祉委員長)

船木 史子(茨城県肢体不自由児者父母の会連合会 理事)

米川 正典(一般社団法人 茨城県身体障害者福祉協議会 会長)

佐藤 正臣(一般社団法人 茨城県精神保健福祉会連合会 理事)

高橋 伸幸(茨城LD等発達障害親の会 星の子 代表)

有賀 絵理(茨城県地方自治研究センター 研究員)

## 参画(委員以外)

【施設設置管理者】ひたちなか海浜鉄道(株)、鹿島臨海鉄道(株)、茨城交通(株)、ジェイアールバス関東(株)水戸支店、関東鉄道(株)、  
(一社)茨城県バス協会、(一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会、(独)自動車事故対策機構 茨城支所

【関係行政機関】 茨城県、茨城県警察本部、水戸市、日立市、北茨城市、常陸大宮市、高萩市、大子町、笠間市、ひたちなか市、大洗町、筑西市、坂東市、桜川市、  
つくば市、土浦市、取手市、稲敷市、河内町、石岡市、かすみがうら市、守谷市、行方市

【国土交通省】 関東地方整備局、常陸河川国道事務所、関東運輸局、茨城運輸支局

## バリアフリーの取組等

【水戸市】「水戸市バリアフリー基本構想」での施策推進について

・目指す姿「出かけたい気持ち、住んでみたい気持ちにこたえるまちづくり」を実現するために掲げた基本方針「連続的なバリアフリー化」「持続的なバリアフリー化」「心のバリアフリーの推進」に基づき実施された施策についての実績等を紹介。

## 会議での発言 (委員より)

- ・ 信号切り替えが複雑な歩車分離式信号機を設置する際には、音響式信号機の併設についてもご検討いただきたい。また、音響式信号機については、一般の方には騒音として受け取られる場合がありますが、リモコンによる作動制御など、周囲への影響を抑える対応も進んできておりますので、さらなる普及を図っていただければと思います。
- ・ 建物やエレベーターにおいて、照明が明るすぎる場合や暗すぎる場合が見受けられるため、誰もが利用しやすいユニバーサルな明るさとなるよう、ご配慮いただきたい。
- ・ 歩行者の通行が多い国道で進められている歩道の拡張工事については、交通事故の防止にも大きく役立っていると感じています。今後もぜひ、継続して取り組んでいただければと思います。
- ・ ユニバーサルトイレでは、ベッドを広げることで移動スペースが狭くなってしまう場合があります。どなたにとっても利用しやすい環境となるよう、十分な広さを確保して設置していただければと思います。
- ・ 「こころのバリアフリー」を推進するイベントでは、障がい当事者の方にもご参加いただき、一般の方々には介助や車椅子の操作を体験していただく取り組みを行っています。こうした体験を通じて、「こころのバリアフリー」の一層の推進を図っております。
- ・ 車椅子用スロープは距離が長い場合、一度で登り切れないことがあるため、途中にストッパーやフックを設けていただくと助かります。また、設置いただく手すりが季節によって熱くなったり冷たくなったりすることがあるため、その点にもご配慮いただきたい。
- ・ 災害時の避難場所では、知的障害や精神障害のある方が他人の声や騒音に耐えられない場合があるため、管理者による適切なフォローをお願いしたいと思います。また、聴覚障害のある方には、手話や筆談による案内など、確実に情報が伝わる方法を用意していただくなどの対応を行って頂きたい。
- ・ 発達障害は外見から分かりにくい障がいであるため、交通機関の運転手の方などには、発達障害の特性や症状についてご理解いただき、トラブルが生じた際には適切に対応していただけるとありがたく思います。
- ・ バリアフリーについては、ハード面は進んでいる一方で、ソフト面はまだ十分に追いついていないと感じています。水戸市のバリアフリー部会での取組を通じて、「こころのバリアフリー」がさらに広がっていくことを期待しております。
- ・ 「こころのバリアフリー」という用語については、障がいのある方々の不便や困難を理解し、積極的に支援することと説明されることが多いですが、そもそも障壁を生み出しているのは社会側であり、社会全体がその障壁を取り除くよう努めるべきものだと思います。



# 令和7年度 群馬運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

## 開催概要

<主催:関東運輸局群馬運輸支局>

○日時:令和8年2月4日(水)14:00~16:00

○場所:群馬県市町村会館 大会議室

○議題: (1)関東運輸局のバリアフリーの取り組みについて  
(2)関東地方整備局のバリアフリーの取り組みについて  
(3)群馬県のバリアフリーの取り組みについて  
(4)安中市バリアフリーマスタープラン及び  
磯部温泉地区バリアフリー基本構想について  
(5)意見交換

## 委 員

(敬称略)

<座長>湯沢 昭 (公立大学法人前橋工科大学名誉教授)  
橋本 巧 (社会福祉法人群馬県社会福祉協議会施設福祉課長)  
杉田 安啓(公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会会長)  
野口 和彦(一般財団法人群馬県老人クラブ連合会事務局次長)  
吹野 香織(一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟理事)  
若井 隆弘(公益社団法人群馬県知的障害者福祉協会副会長)  
茂木 勤 (公益社団法人群馬県視覚障害者福祉協会会長)  
上野 勝征(特定非営利活動法人群馬県精神障害者社会復帰協議会)  
山田 智子(群馬県自閉症協会事務局)

## 参画(委員以外)

【施設設置管理者等】 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、東武鉄道株式会社、上信電鉄株式会社、上毛電気鉄道株式会社、わたらせ渓谷鐵道株式会社  
一般社団法人群馬県バス協会、一般社団法人群馬県タクシー協会  
【関係行政機関】 群馬県、群馬県警察本部、前橋市、高崎市、伊勢崎市、安中市  
【その他】 群馬県市町村教育委員会連絡協議会  
【国土交通省】 関東地方整備局、関東運輸局

## バリアフリーの取組等

【群馬県】 障害者差別解消法・条例の周知啓発、ヘルプマーク・補助犬の周知啓発、人にやさしい福祉のまちづくりの推進 他  
【安中市】 まち歩き点検の実施、バリアフリーマスタープラン及び磯部温泉地区バリアフリー基本構想の策定 他

## 会議での発言 (委員より)

- ・ 身体障害者団体の関係者が県内の電車に乗った際、縦手すりがなく着席に大変苦勞し、群馬県のバリアフリー化が遅れていることに驚いた、という話を伺った。駅や車両のバリアフリー化についても、整備目標に向けた取り組みを推進していただきたい。
- ・ 基本構想の策定状況を見ると、関東管内や全国平均と比較して下回る項目が多い状況にあるため、より一層力を入れて取り組みを進めていただきたい。
- ・ みどりの窓口が廃止傾向にあり、アナウンスと販売機での切符の販売となったため手続きがとても大変になった。こちらが言いたいことが伝えられない状況が起き、大変不便に感じる。駅のアナウンスについて、音声だけでなく文字化してくれるような仕組みの導入を検討いただきたい。
- ・ バリアフリー教室等で知的障害のある方への理解を促すような取り組みを検討していただきたい。知的障害のある方もいろいろな場面で会議に出席しているため、当事者の意見を聞く機会を作っていければと思う。
- ・ 公共交通機関の案内など、誰が見てもわかりやすいものを皆さんと一緒に考えていきたい。また、障害者手帳のデザインが障害や自治体によって異なり使いにくい場合もある。手帳の統一化や電子化など、分かりやすく使いやすい仕組みを一緒に議論していきたい。
- ・ 自閉症の方は、見通しが立たない状況では混乱しやすい特性があるため、特性に応じたパニック時の対応などを社員教育のなかにいれていただきたい。緊急時、避難時、事故のときの発達障害のある方への対応方法を共有していただけると大変ありがたい。